

2022年8月24日
 空調タイムズ 6面 掲載



小川 彰彦社長

総合エネルギーコンサル
 ルタントのE. I. エン

蓄電、燃料電池機器を追加

E. I. エンジニアリング

「バージョン6」近く投入

エネルギーシミュレーションソフト「Enepro21

「Enepro21」シリーズの最新バージョン「Enepro21 Regular」の投入を予定している。このソフトは、蓄電、燃料電池機器を追加し、エネルギーシミュレーションソフトとして機能する。また、最新の機能として、蓄電、燃料電池機器の追加、エネルギーシミュレーションソフトとして機能する。また、最新の機能として、蓄電、燃料電池機器の追加、エネルギーシミュレーションソフトとして機能する。

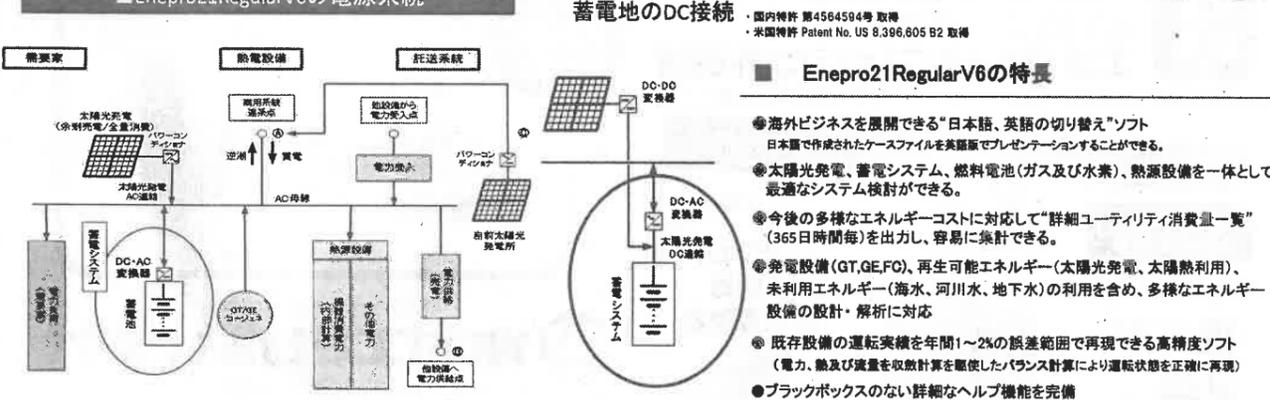
高効率セントラル空調冷熱&地域熱供給 特集

おの、ジェネコン、地域冷暖房会社、都市開発会社、地域エネルギー開発会社、サブコン、大手の中央研究所などの需要分野へ最新機能を訴求し、地球温暖化防止に一層貢献していく。(小川社長) 「Enepro21」は、発電設備や再生可能エネルギー設備や省エネ設備など、多様なエネルギー設備の設計・解析に対応し、年間1~2%の誤差範囲の高精度な再現が可能。エネルギーコスト削減や最適運転に関する連動パラメータの影響を定量的に評価できる唯一の汎用技術ソフトとして独自のポジションを構築している。ライセンス供与先は国内の大手建築設計会社、設備会社、エネルギー省エネ・省コストでは

累計68万1千200RT (冷凍トン)のコンサル実績を有している。この実績を活かして、「Enepro21V6」によるコンサルビジネスを拡大していく。(同)とする。今回開発した「Enepro21 Regular V6」は、蓄電システム、燃料電池(ガス及び水素対応)機器を追加し、さらに、電力会社の出力制限への対応など太陽光発電設備の機能強化を図った。これによって発電設備、熱源設備、太陽光発電設備、需要側側(ビル側)電力負荷を含む全体の最適運用について蓄電設備を活用してシミュレーションできるようになった。同社によると、蓄電システムは、電力会社からの購入電力の平準化、災害時の非常用電力、太陽光発電電力の有効利用、電力料金を考慮した充放電、DR/VPPによる電力市場への参加等を狙い、導入を検討するケースが増えているとしており、今回の「V6」を開

発した背景要因に挙げている。具体的な特徴では、日本語/英語を切り替えて使用できるため海外ビジネスの展開で機能が発揮し、日本語で作成されたケースファイルを英語版でプレゼンできる。また、太陽光発電、蓄電システム、燃料電池(ガス/水素)、熱源設備を一体として最適なシステム構築の検討が可能で、スマートシティの計画、地域のエネルギー使用の最適化を検討できるソフトに完成されている。今後の多様なエネルギーコストに対応して「詳細ユーティリティ消費量一覧」(365日時間毎)を出力し、容易に集計できる。発電設備(GT,GE,FC)、再生可能エネルギー(太陽光発電、太陽熱利用)、未利用エネルギー(海水、河川水、地下水)の利用を含め、多様なエネルギー設備の設計・解析に対応。既存設備の運転実績を年間1~2%の誤差範囲で再現できる高精度ソフト(電力、熱及び冷量を収支計算を駆使したバランス計算により運転状態を正確に再現)ブラックボックスのない詳細なヘルプ機能を完備

太陽光発電、蓄電池および熱電設備を一定化した エネルギーシミュレーションソフト Enepro21 Regular V6



株式会社E. I. エンジニアリング
 www.eie-e.com
 本社 〒651-0095 兵庫県神戸市中央区旭通 2-10-18
 TEL: 078-222-8250 FAX: 078-222-8258
 東京事務所 〒168-0081 東京都杉並区宮前 3-22-16
 TEL/FAX: 03-6761-8198